

回答書

2020-2022年度課題別研修「仏語圏/英語圏アフリカ向け 参加型灌漑施設運営管理」コース研修委託業務（筑波センター）（公示日：2020年1月20日）について、配布しました業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	別紙1 P3	④持続的且つ効果的な灌漑農業に資する手法	本項目（イ）の「食と栄養のアフリカ・イニシアチブ（IFNA）」について、本件は2016年第6回アフリカ開発会議における貴機構の主要な提案項目となっているところ、本項目の講義にあたっては、当協会が調査した事項のみならず、貴機構において把握している情報が極めて重要であると思料されることから、当協会が本件を受注した際には、こうした情報ならびに今後の方針等に関する情報提供は可能でしょうか。	IFNA関連の資料や研修コーステキストを共有することは可能です。また、灌漑案件での栄養改善の活動実施については公開されている「灌漑排水分野案件形成の手引き（ソフト編）」もご参照ください。
2	別紙1 P3	④持続的且つ効果的な灌漑農業に資する手法	本件指示書には具体的な記述はなかったものの、左記にあげた項目の効果的な実施にあたっては、NERICAに関する講義が重要と考えていますが、貴機構の実施しているNERICAに関する研修その他の活動との連携・情報提供は可能でしょうか。	当センターで実施している、または過去に実施していた、ネリカを取り扱う稲作関連コースでのリソース（講師情報等）提供は可能です。ただし、2020年度においては、本コース実施時に同時に行われている稲作関連コースの日程がすでに決定しており、調整の結果コース間連携（例：合同講義）は実現できない可能性があります。
3	別紙4 P8	見積対象経費	（1）⑦によると、2020年度は研修員が6名なのに対し、2021年度、2022年度は13名となっており、研修諸経費の資材費等において差異が生ずるところですが、3年分の内訳書の提出が求められていないので、今回提出する見積書では3年間同額として扱ってよろしいでしょうか。	本コースの最大受入人数は13名です。内訳書の提出は不要ですが2021年度・2022年度は定員13名まで受け入れる想定で資材費等を積算してください。
4	別紙4 P9	テキスト、原稿謝金と翻訳	（3）によると新規翻訳の場合2.5時間あたり原稿謝金3枚分（日本語）またはパワーポイント12スライドとされていますが、仏語の原稿謝金については講義内容に見合ったものであれば、これによらないものとしてよろしいでしょうか。	研修で利用するテキストは講義に使用する必要最低限のものとしてください。講師が仏語で作成するため翻訳が不要な場合でも、(3)の2.5時間あたりの分量を目安とし講義内容に見合った量をご検討ください。

以上